

大会名 Competition	ウインターカップ2017 秋田県予選会 女子決勝
No. M-1	Year Month Day Time 2017 年 10 月 29 日 12 : 35
場所 Place	横手市増田体育館



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

主審:Referee 佐々木一也
副審:1stUmpire 疋田 晋
副審:2ndUmpire 大山 忠則
テーブルオフィシャル:Table officials
横手高校女子バスケットボール部

チームA		チームB
湯沢翔北	(21 1st 16 17 2nd 15 19 3rd 9 15 4th 20 OT)	秋田中央
72 ○		60 ●

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	佐々木 留 夏	CAP	8	1	2	1	0	4		門 間 結 美		-	-	-	-	-
5	×	高 橋 悠 佳		10	0	5	0	5	5		富 岡 榛 奈		-	-	-	-	-
6	×	村 上 瑠 奈		8	0	4	0	3	6	×	川 村 梨理佳		8	2	1	0	2
7	/	佐 藤 緩 乃		0	0	0	0	1	7	×	岸 聡 子		18	0	6	6	2
8	×	高 山 美 瑠		13	0	6	1	2	8	×	佐々木 菜 摘	CAP	16	0	6	4	2
9		高 橋 真 衣		-	-	-	-	-	9		栗 谷 南美羽		-	-	-	-	-
10	/	鈴 木 あ み		0	0	0	0	0	10	×	半 田 結 衣		2	0	1	0	1
11	/	目 黒 歩 子		2	0	1	0	0	11		小 野 鈴 奈		-	-	-	-	-
12	×	安 藤 千 遥		14	1	5	1	1	12		三 浦 舞 羽		-	-	-	-	-
13	/	近 藤 萌 希		17	1	7	0	4	13		鈴 木 綺 乃		-	-	-	-	-
14	/	齊 藤 可 怜		0	0	0	0	0	14	/	坂 谷 晴 日		6	0	3	0	1
15		清 川 璃 子		-	-	-	-	-	15	×	佐々木 琴 子		10	1	3	1	1
16	/	浅 利 千 奈		0	0	0	0	0	16		浅 倉 好 花		-	-	-	-	-
17		佐 藤 留 奈		-	-	-	-	-	17		中 田 結梨佳		-	-	-	-	-
18		伊 藤 杏 香		-	-	-	-	-									
19		佐 渡 ほのか		-	-	-	-	-									
20		小野寺 紅 美		-	-	-	-	-									
21		高 橋 愛		-	-	-	-	-									
コーチ		樋 渡 真 華							コーチ		門 間 義 範						
Aコーチ		横 山 萌 華							Aコーチ		幕 沢 美 穂						
合 計				72	3	30	3	16	合 計				60	3	20	11	9

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* インドシュート 2P:2P* インドシュート FT:フリースロー F:ファウル

女子決勝は全県総体決勝と同一カード、湯沢翔北に秋田中央が挑む一戦となった。
第1ピリオドは、お互いマンツーマンでスタートする。秋田中央#8佐々木（菜）がゴール下シュートで先制する。その後も#8佐々木（菜）のインサイドを起点にオフェンスを展開する。一方、湯沢翔北は#12安藤、#8高山がバスケットカウントで得点を重ねる。さらに#5高橋（悠）がジャンプシュートを決め、21-16で湯沢翔北がリードして第1ピリオドを終えた。
第2ピリオドに入ると開始早々、湯沢翔北の#5高橋（悠）がゴール下シュートを決める。その後ディフェンスの圧力を強め、秋田中央にプレッシャーをかけていく。しかし、秋田中央は#15佐々木（琴）の3P、ドライブで差を詰め、残り6:11で速攻から#6川村がシュートを決め、同点とするが、湯沢翔北は#8高山がゴール下シュートを決め、リードを譲らない。その後も、秋田中央はなかなかリバウンドやルーズボールが取れず38-31で前半を終える。
第3ピリオドは秋田中央が先制するが、湯沢翔北も#13近藤がゴール下でシュートを決め返す。お互いシュートが決まらず、我慢する時間帯が続く。その後秋田中央#6川村が3Pを決め、点差を縮めるが、湯沢翔北の#13近藤が連続でゴール下シュートを決める。さらに速攻が次々に決まり出す。秋田中央は湯沢翔北の厳しいディフェンスを攻略できず、シュートまで持っていけない。終了間際に湯沢翔北#12安藤の3Pが決まり、57-40とリードを広げ、第3ピリオドが終了する。
第4ピリオドは湯沢翔北#13近藤のジャンプシュートなどで得点を重ね、この日最大となる19点差となったところでたまたま秋田中央がタイムアウトを取る。その後、秋田中央は#8佐々木（菜）が#7岸に合わせ、ゴール下シュートを決め、反撃を試みる。しかし湯沢翔北はリバウンドからゴール下でシュートをしっかり沈めていく。また、ボールを回し、コントロールして確実に得点を重ねていく。秋田中央も果敢に攻めるがシュートを決めきれず、終始試合を優位に進めた湯沢翔北が72-60で9年連続17回目の優勝を果たし、ウインターカップ2017の出場権を獲得した。

文責 【 千田玲央奈(雄物川高) 】